

平成26年度 さぬき市企画事業

「第2回さぬき市ふるさと未来会議」

報告書



日時：平成26年7月26日（土）
13：30～16：30

会場：さぬき市役所301・302会議室

主催：さぬき市

はじめに

「さぬき市ふるさと未来会議」は、より具体的な市民意見の提案を、市の最上位計画である総合計画に反映させるべく、市民参画の一環として開催しているものです。

今年度は、将来像実現のために、平成27年度からの4年間で「何に取り組み（主要施策）」「どのような成果を目指すのか（目標指標）」を定める「前期基本計画」を策定しますが、この主要施策と目標指標は、市民の皆さまの暮らしに直結する内容が含まれることから、「第2回さぬき市ふるさと未来会議」を開催し、広くご意見（アイデア）をお伺いすることとしました。

講演行事はありませんでしたが39人から申込をいただき、7つのグループを設置しました。ご自身の興味のあるテーマで話し合えるため、初対面の参加者もすぐに打ち解けあい、活発な意見交換が行われていました。

この報告書では、市民意見交換会で発言があったご意見と参加者アンケート結果を分類ごとに原文のまま報告させていただきます。

なお、市民意見交換会でのご意見は、次期総合計画の策定や各種施策に活用していくほか、今後、市民の皆さまが自主的なまちづくり活動をされる際の礎になるものと期待しています。

平成26年9月
さぬき市総務部政策課

目次

1	参加者	1
2	タイムスケジュール	1
3	市民意見交換会の進め方	1
4	市民意見交換会結果	4
	第①グループ 【活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち】	4
	第②グループ 【安全、安心 快適に暮らせるまち】	5
	第③-1グループ 【健全な心身と思いやりを育むまち】	6
	第③-2グループ 【健全な心身と思いやりを育むまち】	7
	第④-1グループ 【学ぶ意欲と豊かな心を育むまち】	8
	第④-2グループ 【学ぶ意欲と豊かな心を育むまち】	10
	第⑥グループ 【市民協働による、持続可能な自主自律のまち】	11
	参加者アンケートより 【人と地球にやさしいまち】	12
5	参加者アンケート結果	14

1 参加者

	男性	女性	合計
参加者	23 人	13 人	36 人
スタッフ等	6 人	1 人	7 人
計	29 人	14 人	43 人

2 タイムスケジュール

- 1 開会 13:30
- 2 主催者挨拶 13:32
- 3 市民意見交換会 13:40
- 4 ホットブレイク 16:00
- 5 閉会 16:30



3 市民意見交換会の進め方

市民意見交換会では、基本施策ごとに取組のアイデアを出し合っていました。自由な議論の時間を 100 分程度とし、グループ発表も含め、2 時間 20 分程度で行いました。スムーズに意見交換ができるよう、グループリーダーの役割を、各グループで一人ずつ参加者に担っていただきました。

・タイムスケジュール

時間	項目	概要
13:40~15:20	(1) 自己紹介・意見交換	・各グループ内で自己紹介 ・グループリーダーの進行で話しながら、アイデアを付箋紙に書き、模造紙に貼り付け
15:20~15:30	(2) 発表準備	・グループリーダーが発表するに当たり、意見を整理してグループ内で確認
15:30~16:00	(3) 発表 (&講評)	・1 グループ 2 分程度で発表

・グループ別基本施策一覧

グループ・基本目標	グループ数(人数)	基本施策
【第1グループ】 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち	1 (男性5人、女性1人)	企業誘致の推進と産学官の連携強化 商工業の振興 農林業の振興 水産業の振興 観光の振興 雇用の場の確保 定住促進対策
【第2グループ】 安全、安心、快適に暮らせるまち	1 (男性3人、女性1人)	消防・防災体制の充実 防犯・交通安全対策の充実 道路等の社会基盤の整備 公共交通網の充実 情報基盤の充実 住環境の整備 墓地・斎場の整備
【第3グループ】 健全な心身と思いやりを育むまち	2 (男性3人、女性1人) (男性2人、女性3人)	子育て支援の充実 高齢者福祉の充実 障害者福祉の充実 心身の健康づくりに対する支援 地域力の強化による地域福祉の充実 地域医療の充実 生活困窮者への支援 社会保障制度の適切な運用
【第4グループ】 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち	2 (男性2人、女性3人) (男性2人、女性4人)	学校教育の充実 家庭と地域の教育力の強化 生涯学習・スポーツの推進 歴史・文化の伝承 青少年の健全育成 交流事業の推進 男女共同参画の推進 人権教育の推進
【第5グループ】 人と地球にやさしいまち	0 (希望者不足によりグループ不成立。参加者アンケートで意見徴収)	自然環境との共生 資源循環型社会の構築 上下水道の維持・整備 公園・緑地の整備
【第6グループ】 市民協働による、持続可能な自主自律のまち	1 (男性6人、女性0人)	財政の健全化 歳入の確保 行政改革の推進 公共施設マネジメントの推進 市民に開かれた市民本位・市民主体の行政の推進 地域コミュニティの活性化 広域的行政の推進

・アイデアのまとめ方例

第5グループ「人と地球にやさしいまち」	
基本施策	アイデア
自然環境との共生	
資源循環型社会の構築	
上下水道の維持・整備	
公園・緑地の整備	

市民啓発の一環として、リサイクルのしかたを学べる市民出演番組を製作してケーブルテレビで放送してはどうか。

さぬき市の自然を守り、ふるさとへの関心を高めるために、年に1回、全市民で一斉清掃活動を行う日を定めてはどうか。



付箋紙記載例



4 市民意見交換会結果

第①グループ 【活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち】

基本施策	アイディア
企業誘致の推進と産学官の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の誘致に力を入れてほしい 若い方が地元に残れる ・高速 IC さぬき市には3ヶ所ある これを利用すべし
商工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・料理自慢（つけもの、料理） ⇒レシピ公開 ⇒食べられるところも（試食でも・お店でも） ・地区をしぼって資金を入れる ・各商工会の整理統合
農林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会で考えよう。集落営農から、集落営農組織、集落組合拡大 と順位 ・集落は今後個人で農業はやっていけない やはり集落営農で運営すべし ・農業はもうからん！息子がやってくれるが農繁期はよくケンカ いつまでやれるか不安 機械代が高い 米代が安い ・個人作業→共同作業→共同化→法人化へと進化させること ・農業（農地保全継続）新モデルをデザイン⇒若者が就農できる ・ジビエ料理の振興（イノシシ・シカ肉の利用と消費） ・若者が体験する機会を ・ブランド品
水産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・良い・おいしい食材を発掘してマップづくり ・低コスト化 労力の補充 農地の保全 地区文化を継承する 地区のコミュニケーション ・津田・志度漁業の合併
観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎の良さを発見→インターネットの利用 ・いるかイベントの市とのコラボレーション ・観光地の整理とアピール 告知
雇用の場の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・農業法人の活性化 ・農林水産業の企業設立で新しい雇用
定住促進対策	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の統廃合 ・集落の空き家の利用 ・空き家のデータ管理→ex 竹田市 ・子供一人当たりの援助金



第②グループ 【安全、安心 快適に暮らせるまち】

基本施策	アイディア
消防・防災体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災対策のため自治会単位の自主防災組織づくりの促進・充実・訓練 ・ 防災体制のため身近な距離で避難場所をつくる必要あり ・ 防災体制充実のため、「安全な」避難経路の確保 ・ 防災体制の充実。訓練の定例化、内容の充実、実践活動の強化
防犯・交通安全対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯体制の充実のために警察のパトロールをもっと緻密に ・ 交通安全対策 隠れずに堂々と取り締りを！！ ・ 防犯・安全対策 地域になじもうとするお巡りさんの配置を ・ 交通安全充実のためカラー舗装にする ・ 交通表示をもっと増やすべき
道路等の社会基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路肩の草・木の適切な管理を
公共交通網の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通網を高齢化対応したものに再計画を ・ 公共交通網充実のためデマンド交通の導入を
情報基盤の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会単位での音声放送ができるようにすべき ・ 基本的にはケーブルテレビと広報で周知できている
住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住環境。個人住宅の耐震化の徹底周知をもっとすべし ・ 庁舎（市役所）は公共交通との連動を意識してほしい ・ 空き家対策。使える空き家の利活用を ・ 住宅リフォーム補助事業の枠を増やすべき
墓地・斎場の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無縁墓地の調査をすべし



第③-1グループ 【健全な心身と思いやりを育むまち】

基本施策	アイディア
子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> ①女性が働きながら子供を育てる環境整備 ・小学校3年生までの放課後児童クラブを小学校6年生まで広げるシステムをつくる←さぬき市単独事業で実施すべき
高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動センターのみの活動ではなく民間（地域）で福祉を考える ・高齢者福祉 <ul style="list-style-type: none"> ①地域社会で定期的に集まって行事を行う ②最低の年金の確保 ・認知症にならない為の元気さんデイ？的な事を自治会で計画をして普及していく
障害者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉 <ul style="list-style-type: none"> 働く場所の確保。残存能力を可能なかぎり使って働いて生活するシステムづくり ・長寿福祉祭りのような行事をさぬき市全体で開催し、共生の心を育て広げていく ・ケーブルテレビで障害者の施設紹介を順にしていき、障害者への理解を深める ・親の会に任せてもらって実施をしていく
心身の健康づくりに対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの見守りや声かけをする ・地区のイベント時に一員として活躍をしてもらい本人の気力アップを図る
地域力の強化による地域福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動に出てきてもらう ・65才以上の方でも元気な方には働いてもらう（その場を作る） ・近所同士の見守りをする ・生きがいづくり。ボランティアに参加する （例）子供たちと一緒に劇団をつくって活動する ・無理をしないで元気ですごしてもらう
地域医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんが産める施設がない。従って、現施設を残してほしい ・入院施設が少ない。近所の市、町への紹介をきちんとしてもらう
生活困窮者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者への支援。人間まず働くこと。就労支援を優先する。どうしても働けなければ生活保護もやむをえない ・社会的弱者の方へ民生委員の方が相談にのる。又、手続等をしてあげる
社会保障制度の適切な運用	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年1兆円社会保障費が増加している。増税が必要。死亡消費税も検討しよう ・介護保険の支援1、2は市の域となるが、地方交付税で少しは解決していけるでしょうか？

第③-2グループ 【健全な心身と思いやりを育むまち】

基本施策	アイデア
子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・定住化の促進 人口減少 高齢化に歯止め ・女性が働きながら子育てできる環境づくり ・さぬき市は子育てに力を入れています！宣言 ・子ども医療費の助成（通院）中学校卒業まで ・放課後児童クラブの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・時間延長 ・料金 ・対象 小6まで ・市内の保育所 幼稚園 残してほしい ・子育て ホームヘルプサービス事業 ・一時預かり事業 いかなる理由でも預かり OK に！ ・中学校まで土曜日の学校開放 ・寺子屋が必要（最低、たし算、ひき算、かけ算、割算ができる）
高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・気づきの意識を持ってもらうための研修 ・地域見守り隊の結成を促進 ・介護と医療との連携が必要
障害者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者、高齢者、子供も集える居場所づくり
心身の健康づくりに対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき健康100歳体操（←名称あつてるか不明。高知市のあちこち、淡路島でも盛ん）をさぬき市でも開く ・介護予防で金券を出す（岡山市を見本に、DS（デイサービス）などを卒業し、さらに自ら介護予防に努める人に金券等をプレゼントする）
地域力の強化による地域福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域は色んな人がいる 独居、身よりなし、認知症、ひきこもり、失業、病気、生活困窮 ・どこに持って行けばいいのかわからない ・空き家がいっぱい ・居場所づくり（空き家活用） ・コミュニティデザイナー（地域をつなぐ人）の育成（埼玉幸手市の例。山崎亮を呼ぶ） ・コミュニティソーシャルワーカー（地域のコーディネーター）の設置 ・たて割りでなく横のつながりになる ・相談窓口の一本化（なんでもコーディネーター課の設置） ・課題共有の場づくり ・問題解決のネットワーク（市民・行政・社協）地域ケア会議 ・ボランティア団体とか NPO に市が補助金を出す
地域医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問診療をスタート支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市を見本 ・ベテラン訪診の医師が若手医師を支援したり、ワールドカフェを開く（多職種で顔の見える連携を）
生活困窮者への支援	—
社会保障制度の適切な運用	—



第④－１グループ 【学ぶ意欲と豊かな心を育むまち】

基本施策	アイディア
学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の野菜、果物、養殖、漁業などを学習と結びつける ・ 商業、農業、漁業、八十八カ所など市で売り込みたいものをいかし子供にも教育する ・ 小・中学校で30人学級（最低35人学級） ・ 教室定員を30人以下にして補助教員をつける ・ 教師と子供、教えられる、教えてほしいが合ってもそれを行う環境がない。フリーな環境を！！ ・ 発達障害の子供とまわりの子とのカベをなくす ・ 統廃合をなくすという意見は多い ・ 教員の事務負担を少なくして子どもに向き合う ・ 小学校低学年にサポート教員を！ ・ サポート教員でレベルアップはかる ・ リーダーシップをとれる教師を育てる ・ 学校の統合は問題だ。マイナス面が多い
家庭と地域の教育力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者と子供の相互支援のしくみをつくる ・ ボランティアにも実費を予算化してほしい（旅費等） ・ 親を本気にさせるシステムを作る！ ・ 地元の人々が学校教育に積極的にかかわる ・ 密着した教育現場の実現 ・ サポート教育制度の充実 ・ 学校の統廃合ではなく地域に根ざした学校を！ ・ 地域に密着した学校は小規模校だ ・ ボランティアの人は税金を安く ・ 有償ボランティア ・ 学校施設を遊び場、交流の場として使う
生涯学習・スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ少年団の指導者の養成 ・ スポーツ指導者の育成（有償化） ・ 町から下って来るしかけをつくる （例、子供の遊び場、わざわざ来る意味。他にない物を発展させて） ・ 子育て家庭を優遇
歴史・文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の人が学校教育に積極的に関わる ・ 源内・静御前などの歴史上の人物をもっとアピールしてほしい
青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポケットパーク。大人も子どもも遊べるくつろげる空間、広場づくり（あき地利用） ・ 色んな人が寄る、コミュニケーションがとれる環境 ・ 運動場を開放して遊ばせる

基本施策	アイディア
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生までの医療費無料化（三木町に行っちゃう） ・親の協力がないとスポーツも芸術もできない ・市で子供を育てる手伝いをしてほしい
交流事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルテレビの利用 ・古施設もリフォームもアイデアしだい ・多和小、鶴羽小、天王中の活用（学校行事・少年自然の家とか） ・まつりの統一 ・市のイベント 一体感のある 参加型 市に来させる ・さぬき市としての大きなイベント。小さいのばかりはだめ ・志度寺、長尾寺、結願寺の3ヶ寺を中心としたまちおこしする ・県のイベントにのっかる。アートイベント。ポケットパーク（←子供と大人の遊び場） ・施設利用（無料） 子供の遊び場 屋内 冬は寒いので 夏は暑いので 雨 親は行き場ない ・他市町から親子が遊びに来る 安心して遊べる場所
男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・男女とこだわる狭い考えをそろそろ捨てる
人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者との交流でカベをなくす
(関連意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・市の人材を最大に。ヒーローを市が支援。県外から人を呼ぶよりも市民を！ ・教育と就学・就労とを結びつける 職を増やし定住者を増やす ・子供に税を使ってほしい ・人間形成は教育からなので教育にはお金を使ってほしい ・目先のコストパフォーマンスを考えず、十年後二十年後 ・行政のたてわりの弊害が教育活動を阻害している ・たてわり行政のカベをうちくずす。分野、担当の違いを言い訳にしない ・市役所を建て替えるより教育に力を入れる ・市も真心のある対応して！枠ばかり考えないで！ ・子どもが縦割りなく夢を持って暮らせる市にしてほしい。子育て→小→中をつなげる。何をしても将来なくむなしい… ・子供の選択を増やす市レベルの取り組みをしてほしい



第④-2グループ 【学ぶ意欲と豊かな心を育むまち】

基本施策	アイデア
学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の中に芸術士を高松市のように入れていく ・地域のことも学校の授業の中できちんと伝える時間を確保する ・学校の統廃合により、学校の個性がなくなっている。もっと特色作りを ・子どもたちには可能性がある。勉強だけでなくスポーツ、芸術にも専門の先生を配置してもらえれば ・徳島文理大学の学生に勉強、スポーツ（芸術等）を教えにきてもらう
家庭と地域の教育力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・親の子に対するかかわり方に差がある。保護者にいろいろな活動に半分強制的にでも参加してもらうしくみ作りを ・昔の行事が（食事が）家庭で継承されていないので、もっと推進するような働きかけを
生涯学習・スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・志度地区の公民館の整備を ・大人も子どもも出入りできるオープンなサロンのようなスペース作りによる交流の場を提供する（例、廃校や空教室を利用）
歴史・文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが本物にふれあえる（絵、音楽等）場所を ・市全体の歴史美術を見て、ふれて、体験できる場所を
青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・例、学校の空教室で毎日、安心してすごせる整備を
交流事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域による海外の人との交流（在住している人） ・他の地域を知るために、交流事業は続ける（子どもたちが異文化を感じられるように）
男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・男性も女性も参加できる場の提供 ・男性ならではの、女性ならではのことはあるので、そこはお互いに認めあい協力する
人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育の充実による人権教育の推進



第⑥グループ 【市民協働による、持続可能な自主自律のまち】

基本施策	アイデア
財政の健全化	<ul style="list-style-type: none"> ・市の予算が減少することを市民は知っているのか ・各市会議員へのチェック機能の強化 ・市会議員の活躍をみえるようにする
歳入の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・廃校の活用 事業収入を？ ・企業誘致と市企業 ・軽自動車税など税をコンビニ支払い可能とする
行政改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり（長期）が不足 ・民間委託への検討 ・避難する公民館、学校がなくなる ・オンブズマン制度が必要
公共施設マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・旧5町のままをやめる ・図書館を巡回図書とする
市民に開かれた市民本位・市民主体の行政の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市議が出身地住民と話し合う会を設ける 一日／年 ・若い人の意見を聞く仕組み ・市役所見学会（若い人）を行い、若い人に市政関心 ・何でも相談できる窓口がある。市民目線 ・リーダーシップが重要
地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア連合会が必要 ・町内のコミュニケーションを活性化する策 ・さぬき市連合自治会⇒市へ提案している（町づくり） ・町づくりは何が町にできるか？
広域的行政の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・旧5町のやり方にメスを入れる



参加者アンケートより 【人と地球にやさしいまち】

基本施策	アイディア
自然環境との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増え続ける竹の有効活用 ・ 水路の一部にU字溝ではなく、魚や虫が住みつけるものにしてほしい ・ 自然を壊さないでほしい ・ さぬきの自然の多様性を知る ・ 海・川・山との関わりが少なくなっている。危険 ・ 山から海、海から山への循環 ・ 多くの自然ポイントの標識を多く設置する ・ 守ること。維持すること ・ 守ること、活かすこと、伝えること ・ 自然という財産を有効に活用 ・ 人と自然の本来（太古より）の関わり方を見つめ直すところから始める ・ 自然を利用したハイキングコースや野鳥等の観察エリアなどを作る ・ 遺跡・史跡が多くあり、大切に保存してほしい ・ 文化、歴史を基本にしたまちづくり
資源循環型社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資源ゴミの収集回数を増やしてほしい ・ 太陽光発電の設置条件の法整備をするべき ・ エネルギー不足を補うためにも必要 ・ 核ゴミはどうするのか ・ ゴミの利用 ・ 生産性、収益性を考えて循環システムを作る ・ 燃やせるゴミの袋を高額にする。何でも袋に入れてしまうので、もっと細かく分別してはどうか ・ 再生可能エネルギーの促進 ・ 再生可能エネルギー（バイオマス等）との関係で表現してほしい ・ 3Rの育成 ・ 資源はなくても素晴らしい人がいる。人材の活用こそ大切である
上下水道の維持・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ さぬき市は上下水道（一部は除いて）の整備はだいたいできている ・ （上水について）香川用水とそれ以外とを分け、市内の水源の質を高める ・ 下水道を利用できる世帯は、できるだけ早急に接続して、公平な下水道利用料金の分担 ・ おいしい水としてください ・ 安定供給の確保 ・ コスト（ランニング）を考えた事業
公園・緑地の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 志度の町なかに子供の遊べる公園がほしい ・ シルバーの人達が整備等をしているので現状でよい ・ 子供達が自由に利用できるものがほしい（2人）

基本施策	アイディア
	<ul style="list-style-type: none"> ・旧小・中学校の再利用（2人） ・公園がどこにあるのかわからないくらい、公園自体が少なすぎる ・子供・大人が集まる場所として作ってほしい ・全ての年代からの利用がされるような公園、運動公園と遊び用公園の整備の推進。 ・公園ごとにモニュメントを設置する ・子供や年寄りが集える小さな公園。滑り台やぶらんこが必要なわけではない。小さくてもスタイリッシュな公園を（Pocket park）。 ・親子が安心して寄れる場所。いつでも行ける場所
（関連意見）	<ul style="list-style-type: none"> ・全てにおいて予算が必要。必要であれば市税アップもやむなし。



5 参加者アンケート結果

第2回さぬき市ふるさと未来会議の参加者に、アンケート調査を実施しました。
アンケート結果は以下の通りです。（「人と地球にやさしいまち」のアイデアは除く）

1 概要

・アンケート回答者

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	計(人)
男性	0	2	2	4	10	5	0	23
女性	1	2	3	2	2	1	1	12
計	1	4	5	6	12	6	1	35

2 ふるさと未来会議に参加してどうでしたか（複数回答）

	男性	女性	計(人)
1.勉強になった	13	9	22
2.楽しめた	14	10	24
3.難しかった	2	0	2
4.その他	2	0	2

2-1 その理由

男 性	
1と2	<ul style="list-style-type: none"> ・良い点悪い点各自が述べて、より良くしていきたい。 ・不安に思っていることが言えた。それが実行されるよう願う。効率化ばかり行っていると思う。 ・市の内情など、どうするか考える事が面白かった。 ・話を聞き、建設的な話し合いができない人が多い中、今回は特定の話題で盛り上がりました。 ・自治会の体制、活動内容が理解できた。 ・さぬき市を多方向から見た意見が聞けた。 ・参加されているそれぞれの人が意識が高く、真剣に自分たちの住む市のことについて考えられており、自分の意識の低さを実感させられたという面で勉強になった。 ・立場、考え方、見方の違いから様々な意見が聞けたのでよかった。人と人が、隣近所レベルから集まって話し合うことから始まっていくものだと思った。 ・市民の率直な意見が聞けた。 ・仲間と大いに議論出来た。 ・数多くの意見が出て大変良かった。 ・テーマが決まっていたので話しやすかった。色々な人の考え方がわかり、良かった。 ・未来ではなく、要望になっている。目先が多すぎる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ意見を持った人が多くいた。 ・自分の意見を発信でき、皆さんに聞いてもらえた。また、他の人の考えを聞くことで、自分を見つめることができた。 ・様々な意見があって感心した。 ・いろいろな意見が出たけれど、やっぱり子供からの人づくり。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が少なくまとめきれない。キーワードの表現を具体的にすべきであった。 ・テーマが大きく、また多くあったので、幅広い意見が出しにくい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・意識が高まった。 ・若者の参加者が少ない（通知はOKか）。

女 性	
1と2	<ul style="list-style-type: none"> ・さぬき市の現場の現状を知ることができたので、勉強になった。 ・昔から伝わる文化や芸術・スポーツ等を確実に伝えたり、個性を伸ばす教育は本当に必要だと感じた。④-2グループの全ての項目で意識が変わればと感じる。意識を変える事が必要だと思った。 ・他の人の意見（自分の知らないことも多々あり）が聞けて楽しかった。みんなが思っているより、さぬき市の課題は多い。 ・家庭の教育が大切だということに、更に気づかされた。これからのPTA活動や地域での子ども会活動で、家庭力の強化を強く訴えたい。 ・初めて出会う方がほとんどだったので、人とつながる輪がもてて嬉しかったです。1つのテーマに向かったの意見交換は良かった。 ・話を出し合い共感できること、してくれることがあった。市に相手にされないアイデアも話題にしてもらったのが無駄でない気がしてよかった。 ・色々な思いを持った方、経験を持った方と話ができて、共有できたこと。子供の教育の場を良くしていきながら、人材の活用をしていくことにより、地域が活性化し、子供がより良く育っていく場所づくりに。 ・話し合いの重要性を感じた。色々なことに気づくことができた。 ・違う職場や立場の方と意見交換することで、刺激を受けることができた。 ・意見を十分言うことができ、みんなで意見交換できた。 ・自分の関係していない『子供の障害者』のこともよくわかった。

3 ホットブレイクでの説明を踏まえ、あなたは「市民憲章」についてどう思いますか。

	意見
①必要だと思う (19人)	<ul style="list-style-type: none"> ・努力目標、目的が必要なため。(3人) ・市の理念は必要。さぬき市がどうあるべきかが大切。 ・郷土愛を育む上、また、未来のさぬき市を考えていく上で必要だと思う。 ・市民が意識を持って作成するものが必要である。市民の参画が必要。意識を変えるきっかけとなる。 ・今でも素晴らしい市の取り組みがある。 ・誰も知らないような憲章はいらない。誰もが知り、実現するための憲章が必要。 ・さぬき市への一層の意識が深まる。 ・故郷に愛着を持つことにつながっていくのではないと思う。 ・さぬき市が目指すものを、市民で共有するためにあったらいいと思う。 ・あるべき市民像の育成のため。 ・市民憲章は、あるのが普通である。 ・合併後のベクトル合わせ。 ・市民の町づくりに必要。 ・さぬき市民としての誇りを持つためにも必要ではないか。 ・良い町にするための一つの方法。 ・自分たちの市の事なので、一番大切である。 ・全体としてまとまりができる。
②あってもいいとは思いますが、なくてもいい (11人)	<ul style="list-style-type: none"> ・たとえ憲章があったとしても、市民に思いが及ばなければ意味がない。 ・他と似通ったものならいらない。本当に良い所だと思い、移り住む人や在住の方が納得するものならば。 ・あたり障りのない抽象的なものになるから。 ・さぬき市民で共有するために、どのように市民憲章を活用していくのが大切(作るだけでは、意識の共有化はできないので)。 ・文章の羅列だけになりやすい。
③必要ないと思う (4人)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の心が一つになっていないから。きれいな言葉だけを並べ、結果的に嘘を言っていることになるから。 ・憲章よりも市の核となる、1つでいいので、これといったモノ、コト、取り組みなど”さぬき市の特性”を作り、市民に浸透させるほうが大切(広報を見ていない人が多く、行政が見えていない)。

4 市民憲章の内容の決め方のアイデアをお書きください。

意 見
<ul style="list-style-type: none">・ 当局→市民、市民→当局、……と時間をかけて決めてほしい。・ 市（専門委員会）⇄支会が議論。・ 市民にどんな市にしたいのかキーワードを募集する。・ 年齢等、幅広い人材から意見を求め、自分達の憲章であると思ってもらえるようにする。・ 人を思いやる、生活がしやすい町。・ 実現-実行可能なものを作る。現在のコストパフォーマンスに関わらず、20年後、50年後も見据えたものを作ってほしい。具体性のないものだけではだめ。他の市でも成り立つ内容ではだめ。・ 市が素案を作成し、市民へ提示する。・ 言葉を市民より集めつないでいく。→意味のある文章になるには難しいと思う。・ 子供達にワークショップを重ねて一つ出す。・ 各種団体へのヒアリングに努めるべき。・ 文案を公募する。・ 旧5町の意見を入れない。・ 住みやすく、自然豊かな町。・ 行政などの会社等に文章を作ってもらうのではなく、独自の実態を踏まえたさぬき市の市民憲章にしてほしい。・ 市民憲章検討委員会を結成して、取り組むべきだと思います。委員については多くの人の意見を聞いて適任者を選んでほしい。・ 挨拶のできる町。・ 統一感のあるもの。

5 ふるさと未来会議全体の感想や、他のグループの基本施策についてのご意見（アイデア）、市政へのご意見などをお願いします。

意 見
<ul style="list-style-type: none">・ 各連合支会の役割を議論すべき。・ 様々な課題があり、なんとなく生活しているだけではダメだなと思った。もっと若者が参加できる会議になればと思った。・ 市職員は市民を育てることができる人たちです。頑張ってもらいたいと思います。・ 市民の声を聞く柔軟な行政が求められている。・ 5町の弱体化が連携への転換のキーワード。発達にはあらゆる地域、あらゆる分野の連携が必要。個々に頑張っている人は多いのにもったいないという印象。・ 年に1回の開催ではなく、今回参加している人は問題意識の高い人達のはずなので、定期的な開催をしなければ、あまり意味がないのではと思う（こういった人達がコミュニティデザイナーに成り得る）。※高齢者福祉、介護と医療の連携に関しては、岡山市の特区、埼玉幸手市（中野智紀医師が活動の中心）をぜひ参考に。・ たくさんの方々の意見が聞いてよかった。ありがとうございました。・ 市外から人を呼び込む仕組みが必要だと思う。子供のいない市に未来はないと思う。子育て世帯

に足を運ばす方法を良いと考えられるものは、さぬき市が 1 番にやってほしい。本日、ポストイット貼りました。また参考に良い方向にお考えください。無駄になりませんように。

- ・他市町を参考にしつつも独自の方策を（横の繋がりが大事）。
- ・議論と同時に実践と報・連・相を。
- ・もう少し幅広い年齢の方の参加があれば良いと思います。テーマの量の割に時間が短かったように感じた。
- ・多様な意見を吸い上げるシステム作り（自治会の活性化であったり、インターネットや SNS の利用等）。
- ・多くのことに気づけ、参加できてよかった。
- ・市民の相談事に対する記録を残して行ってほしい。
- ・「ふるさと未来会議」はもっと開いてほしい。
- ・政策化できるようなアイデアをできるだけ多く出した方がよい。
- ・自治体、老人会などの見直し。
- ・全体として地域活動充実の大切さを感じた。自治会長に周知してほしい。
- ・若い人の意見を聞きたい。
- ・若い方が働ける所とか環境をお願いしたい。
- ・和気あいあい意見が出たと思う。